

## 提案する。



先日は、個人面談にお越しいただき、ありがとうございました。皆様からお聞かせいただいた内容を、今後の学校教育活動に生かしてまいります。

さて、4月28日(火)2回目の学年集会が行われました。縦割り活動とクラブ活動の確認をしたのですが、その中で2人の子からの提案がありました。

「委員会やクラブの座席を工夫しませんか？」

「他学年との交流を増やすために、座席から工夫していきませんか？」

前回の委員会活動。6年生と5年生がそれぞれ固まって着席したり、自由に座ったりしている様子が見られました。それを見て、「学年を超えた交流を通じて稗原小学校をより良くしていきたい」と考え、この提案に至ったのです。

2人の姿に私は深く感心しました。

一つは、一方的な指示ではなく、「みなさんはどう思いますか？」と問いかけたことです。全員が課題を「自分事」として捉えてもらおうとする、主体的な工夫がありました。

もう一つは、その場の状況判断です。意見が出にくい空気を感じると、数秒考えた後に「近くの人と話し合ってください」と促したのです。反応がないことを責めるのではなく、今の自分にできる最善の行動を即座に考える姿には、強い責任感を感じました。

昨年度は、あまり見られなかった、自ら動く「提案する姿」です。

今年度は、より意識して取り組み、児童の主体的な活動を促してまいります。